

組合窓口で簡単手続き!! 自賠責共済

契約車両を運転の際に他人をケガ・死亡させた事で『賠償責任を負う場合』に共済金を支払います。

2021年3月31日迄の自賠責共済掛金内容

車種	12ヶ月契約	24ヶ月契約	36ヶ月契約
自家用乗用自動車	13,410円	21,550円	(29,520円)
軽自動車	13,210円	21,140円	(28,910円)
自家用小型貨物自動車	15,050円	(24,790円)	
二輪車 (250CC超え)	7,420円	9,680円	(11,900円)
二輪車 (125CC~250CC)	7,670円	10,160円	12,600円
原動機付自転車 (125CC以下)	7,060円	8,950円	10,790円

6.7% 掛金% 引下げ

組合で簡単手続きです

自賠責共済掛金表 2021年4月1日以降始期契約より

車種	12ヶ月契約	24ヶ月契約	36ヶ月契約
自家用乗用自動車	12,700円	20,010円	(27,180円)
軽自動車	12,550円	19,730円	(26,760円)
自家用小型貨物自動車	14,280円	(23,150円)	
二輪車 (250CC超え)	7,270円	9,270円	(11,230円)
二輪車 (125CC~250CC)	7,540円	9,770円	11,960円
原動機付自転車 (125CC以下)	7,070円	8,850円	10,590円

※ ()内の金額については『新車登録時』に必要となる共済掛金になります。
 ※ 「車検証」および「自賠責保険(共済)証明書」と「掛金」を持参で 組合 までお越し下さい。
 なお、御不明な点が御座いましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

事故は突然起ります

損害内容	共済金の概要	支払限度額
傷害の場合 傷害による損害 後遺障害による損害	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料	最高 120万円
	過失利益、慰謝料	神経系統等に著しい障害を残して常時介護が必要な場合 最高 4000万円 後遺障害の程度(14等級あり) 最高 3000万円
死亡の場合 死亡による損害 死亡するまでの傷害による損害	葬儀費、過失利益、慰謝料(本人および遺族)	最高 3000万円
	治療関係費、文書料、休業損害、慰謝料	最高 120万円

Point

住みいる共済で「安心」を確実なものに!! 備えこそ大きな力~

住みいる共済 突然の自然災害!!

大切なマイホームへの備えは万全ですか?

近年、地球温暖化が原因とされる大規模な『自然災害』が全国各地で多発しています。これからの7月~10月頃を中心にして、毎年のように記録的な「豪雨」および「台風」が発生して甚大な被害が起きている事は言うまでもありません。

平成20年7月28日に石川県内でも『ゲリラ豪雨』による金沢市中心部を流れる「浅野川」が、1953年(昭和28年)以来の55年ぶりの氾濫による大災害(7.28豪雨)が起きました。当時、金沢市匠王山周辺は3時間で251mm(1時間に138mm)に達する観測史上最大の局地的豪雨に襲われ、浅野川上流域の金沢市芝原町・折谷町・板ヶ谷町等で崖崩れ・土石流を含む土砂災害が多数発生し、砂防施設や堤防等の公共土木施設が損壊、一部の住宅が全壊・半壊し、約100棟に及ぶ家屋が浸水する被害となりました。その後も中流域の市街地でも水が溢れ出し、約1800棟以上の家屋で床上・床下浸水、果樹園や農地等でも冠水する甚大な被害が発生しました。

いつ起きるか分からない「自然の猛威」に、日頃から我々が出来る準備(備え)として現在加入されている「火災共済」だけでは低額保障(自己負担増)となり、一部の風水害等の保障付帯については「特約」による付帯方式を採用しており、地震(津波)等に関しても保障対象外となり、別途地震共済(共済)への加入が必要となります。

※被害の概要が「火災」でも、発生原因が「地震」である場合には火災共済(共済)だけでは支払対象とはなりません。

自然災害による損害に備えるためには、まずは御自身の現在の加入状況を確認する上で『風水害』『地震』等が保障対象であるかどうかを踏まえて、保険(共済)内容等に今一度見直しを考えてみては如何でしょうか。

火災や自然災害等で被災した際に、家電製品・家具・衣類・寝具…の『家財』に関しては再使用がほぼ困難となり、多くの場合に事実上は買い替えとなります。その保有する家財は意外と多くあり、その買い替え費用(例)世帯主40歳以上・4人家族:約2000万円(ごみ共済Coop調べ)もの更なる負担として重くのし掛かります。これが現実です!!

住みいる共済で自然災害に備えましょう!!

『住みいる共済』<火災共済・自然災害共済の事由別支払状況>

2018年度調べ **170,644** 件 (総件数)

台風:74.7% 降雪:7.0% 地震:6.9% 落雷:2.5% その他自然災害:4.5% 他の原因:4.4%

台風・降雪・落雷・地震等の自然災害が全体の約**95.6%**に達しております!!

[近年に起きた自然災害が原因とされる甚大な被害]

発生日	災害名	おおよび内容
2011年3月	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)	……M9.0の巨大地震(国内観測史上最大)
2011年3月	長野県北部地震(栄村大地震)	……M6.7(家屋倒壊・土砂崩れ等の大きな被害)
2016年4月	熊本地震	……震度7を観測するなど、熊本県・大分県・長崎県を中心に被害(死者273人)
2018年7月	西日本豪雨	……広島県・愛媛県等に甚大な被害(死者263人)
2019年8月	九州北部豪雨	……長崎県・佐賀県・福岡県の広い範囲(全壊87棟・半壊110棟)
2019年9月	令和元年房総半島台風	……千葉県を中心に甚大な被害(全壊457棟・半壊4806棟)
2019年10月	令和元年東日本台風	……静岡県、関東・甲信越・東北地方の広い範囲で記録的な大雨被害
2020年7月	令和2年7月豪雨	……熊本県、九州・中部地方で集中豪雨(全壊1620棟・半壊4509棟)
2021年2月	福島県沖地震	……最大震度6強。2011年3月の東日本大震災の余震であるとされている。



N市従労 NEWS

第184号 発行2021年7月7日 金沢市従労組 情報宣伝部

